

* 竹田市感染症情報(竹田市独自集計) *

令和7年第33週 (8月11日～8月17日)



新型コロナウイルス感染症が流行しています

今週の竹田市調査医療機関からの報告数は37名と、先週の34名から増加しました。これまでは、20歳以上の成人からの報告が多かったですが、先週からは10歳代からの報告もみられ、感染が広がっているようです。豊肥保健所管内では定点あたり4.80人から4.00人に減少し、大分県全体では定点あたり7.84人から、8.03人と増加しています。

感染を広げないためには、手洗い、うがい、換気が重要です。エアコンを使用する際は、定期的に換気を行い、閉め切った状態が長く続かないように気をつけましょう。また、飛沫感染を防ぐために、咳が出るときはマスクを着用しましょう。マスクがない場合は、口や鼻をティッシュ・ハンカチや上着の内側や袖で覆う等の咳エチケットが大切です。



麻しん（はしか）にご注意ください

県外で発生した麻しん患者が、8月3日にハーモニランドを訪れていたことが発表されました。8月3日にハーモニランドを利用した方は、8月24日までに発熱や発しん等、麻しんを疑う症状が現れた場合、最寄りの保健所に相談してください。また、医療機関を受診する際は、事前に電話連絡をし、指示に従って受診してください。受診の際は、公共交通機関の利用を控えてください。

麻しんは、非常に感染力の強いウイルス性の感染症です。感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染があり、手洗いやマスクのみでは防ぐことができません。10～12日の潜伏期間の後、発熱や咳、全身性の発しんや目の充血などが現れます。麻しん患者と接触した場合は、発病までの期間を考慮し、接触後最大21日間の健康観察が必要です。

予防接種が最も有効な予防方法となります。定期予防接種は第1期:1歳児、第2期:小学校入学前の1年間（年長）の2回です。まだの方は、予防接種を受けましょう。海外旅行へ行く方は、自身の予防接種歴を確認し、未接種や不明であれば接種を検討してください。

(第33週)

(調査医療機関8か所の総患者数)

疾患名 年齢	インフルエンザ			新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱（プール熱）	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘（みずぼうそう）	手足口病	伝染性紅斑（リンゴ病）	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	マイコプラズマ肺炎	麻しん（全数報告）	風しん（全数報告）	百日咳（全数報告）	つつが虫病（全数報告）
	A型	B型	不明																
0歳																			
1～3歳													1						
4～6歳																			
7～9歳																			
10～14歳				1															
15～19歳				2															
20歳以上				34				1											
今週				37				1					1						
70歳以上（再掲）				13															
先週				34				1					3						

